



グリベル SINCE 1818

1929年にロボン・グリベルが、2本歯が前方へ出たクランポンを発明。これによって急斜面の雪氷面をすばやく登れるようになりました。この画期的な開発で、1938年7月にアイガー北壁が登られたのです。その頃からグリベルは、強靭なクローム合金に目を付けて1組で360グラムの軽量クランポンを開発。グリベルスーパーリジェットと言われたこのクランポンは、1953年から相次いで成された3大高峰、エベレスト、K2、カンченジュンガの初登頂に使われました。

GRIVEL クロモリ鋼クランポン

G14・オーマチック ¥23,100

二本前歯は鍛造仕上げ。一本前歯モノポイントに変換工作ができるモノポイント専用アルミスペーサーが付属されている。つま先は「クランプ・オーマチック」と呼ぶスプリング効果のある幅広のペイルバックル付き。

G12・ニューマチック ¥19,950

つま先はプラスチックハーネスで甲高アッパーのダブル仕様ブーツへも対応する。かかとはバインディングシステム。

エアーテック・ニュークラシック ¥16,800

つま先かかと共にプラスチックハーネス。多くの種類の登山靴に対応する。



1954年7月、K2初登頂イタリア隊のアキーレ・コンパニヨーニと用具。
右下がスーパーリジェットクランポン。(photo from private archive Achille Compagnoni)

